

衆議院外務委員会ニュース

【第213回国会】令和6年3月22日（金）、第4回の委員会が開かれました。

1 二千二十七年国際園芸博覧会政府委員の設置に関する臨時措置法案（内閣提出第7号）

- ・上川外務大臣、高木復興副大臣、武村農林水産副大臣、堂故国土交通副大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。
- ・採決を行った結果、全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。
（賛成一自民、立憲、維教、公明、共産、有志）
（質疑者）小熊慎司君（立憲）、鈴木敦君（維教）、穀田恵二君（共産）

（質疑者及び主な質疑事項）

小熊慎司君（立憲）

- （1） 2027年国際園芸博覧会（花博）
 - ア 開催費用が予算を超過した場合の負担先
 - イ 花博終了後に赤字が判明した場合の赤字分の費用負担先
 - ウ 一般社団法人2027年国際園芸博覧会協会理事に就任したサヘル・ローズ氏が指摘した課題（地元に残る自然を守り地域住民の声を聞くべき）に対する認識と国の対応に関する堂故国土交通副大臣の見解
 - エ 花博会場へのアクセスの細さと観光客集中による地域住民の日常生活に与える影響に関する地域住民の不安の声に対する国の対応
 - オ 花博会場へのアクセス改善に残された課題に対する国の問題意識と取組
 - カ 福島県が花博に出展するに当たり国が講ずる支援に関する国土交通副大臣の見解
 - キ 花博の開催目的に被災地の復興状況をアピールすることを加える必要性
- （2） コロナ禍後の外国からの観光客需要（インバウンド需要）に地域格差が生じていることに対する政府の認識と解消方法
- （3） 処理水の海洋放出に伴う風評被害対策として科学的安全性の説明以外のアピール方法を検討する必要性
- （4） 「世界に冠たる」と称するほどの予算規模が与えられていない福島国際研究教育機構（F-REI）の現状と今後の見通し

鈴木敦君（維教）

- （1） 2027年国際園芸博覧会（花博）
 - ア 花博の目的と期待される成果についての上川外務大臣の見解
 - イ 花博において日本の技術を世界にアピールする必要性についての上川外務大臣の見解
- （2） 偽情報対策
 - ア ウクライナ紛争や台湾総統選挙において重要性が増した偽情報対策に関する政府の取組についての上川外務大臣の見解
 - イ 国民の情報リテラシーを高めるため偽情報対策に関する総務省資料の改善の必要性及び国民に分かりやすく説明するための副読本配布の必要性
 - ウ 花博や国際会議等の「ソフトターゲット」に対する偽情報への対処方針についての上川外務大臣の見解

穀田恵二君（共産）

- (1) 過去の国際園芸博覧会の参加者数目標と実績についての上川外務大臣の見解
- (2) 花き農家支援
 - ア 燃料代等の高騰が負担となっている花き農家支援のため一定の所得を補償する直接支払制度を導入する必要性についての武村農林水産副大臣の見解
 - イ 国内の花き農家を支援するための関税設定の必要性
 - ウ 過去に国内で開催された国際園芸博覧会の花き農家振興への寄与度